

「日本の家」 3

町家を直す人との対話 2 ー自由になるための町家ー

まつだ けんちく みりよく おも
松田：建築の魅力はいろいろあると思っています。たとえば町家の改修みたいなものは、茶道で千
りきゅう さかな か き
利休が魚のかごを花器につかったような、もともとあるものを見直したり、あまり形をつくらな
い
い
で何かを表すというような魅力があります。もう一つは何か世界を変えていけるような発信力
がある建築です。どっちも魅力かなと思いますが、林野さんは、どう考えますか。

りんの
林野：そうですね。建築って、すごく自由を教えてください。思うんです。あまりよくない
建築って、もう「商品」になっていると思うんです。で、完全にそろったカタログの中から「これ
とこれとこれで」みたいな感じで、家や、家の中の部分を選んで、消費されていく。買ったときが
いちばん
一番よくて、あとは時間が経つにつれてどんどん価値が失われて・・・。
でも本当にいい建物って、「あ、こういう考え方もいいんだ！」と人間の考え方に自由を与えて
くれるものだと思うんです。

まつだ じゆう じゆう
松田：自由は重要なキーワードだと思うんですが、林野さんにとって自由とはなんですか？

りんの
林野：え？なんだろう・・・

いま だんかいで 「じゆう なに」というと、資本主義社会から離れる、ということなんです。

たとえば とうきょう いえ か
例えば東京で家を借りたいとき、いくらお金をだせるかで、部屋の広さとか全部決まるんですよ。

「一か月10万円でのこの駅の近くにす住みたかったらこの家とこの家があります。」みたいな。建物の
いっ げつ まんえん
っしょで、「予算は3000万円です」といったら、「3000万円ならこの会社のこのぐらいの大きさの家
が建てられます。」ってすぐに選択肢が出るんです。

にんげん じんせい
人間の人生は、いつもそんな感じの選択をさせられているんです。家もそうです。でも、それってす
ごく自由じゃないと思うんです。ガチガチに資本主義化された選択から外れること、そうではないや
り方があって、お金のあるなしと関係なく、資本主義社会と距離をとって何かできること、それが自
ぶん
分の目指す自由です。

まつだ いえ なお す
松田：この家を直して住んでいるのも、林野さんの自由のあり方ですか？

りんの
林野：そうかもしれないですね。

わたしにとって自由は、資本主義社会の階級から外れていることかなと思っています。

今の社会はなんでもカタログがあって、それを選んでいくことを楽しむ。特に東京に住む人は、カタログの中から選ぶことしか許されない。そこから抜け出せないのは不自由なことだと思ふ。でも金沢の町家に住むと、階級の外に出ることができる。それによって自分の自由さを感じることができ

きる。今のカタログから選ぶ生き方から出る自由を、町家の改修を通じて実現できたらいいなと思います。また、空地にゼロから新しく家を建てることは、確かに建てている時は自由なんだけど、まちに対して責任を持つという意味で、すごく不自由なところがあるんです。

「ああ、そうか。お前はその形の家を選んで、そういう向きでここに建てるんだな」ということを、いつもまちから責められるんです。家ができた時をゼロとしたらずっとそれが続いていくんです。この「まちに対する責任」を、家を建てた人がずっと持ち続けるということは、みんな気づいていないけど、大変なことだと思ふ。

この、昔からある町家に住んで思ったのは、この家がこのまちの中にあることを、まちの人がみんな知っているということです。そして、受け入れてくれているということです。私に「あ、あなたはあそこのあの家に引っ越してきたのね」「昔私はあそこの家でこれを直してもらったよ」と、コミュニケーションをとってくる人がいる。

つまり、町家にはまちとの向かい合い方の答えが既にあるんです。

だから自分たちはそこに「すっ」と入れればいい。

入ったことで、町から責任をとれと言われない。つまり、責任から解放されるという自由もあるんです。

(1527字)

(2020.12 Written by Makiko MATSUDA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.